

平成23年度国立大学法人等施設整備予算案の概要

平成23年度予算案 43,740百万円（前年度予算額 50,330百万円）
〔他に、財政融資資金 42,325百万円（前年度予算額 38,792百万円）〕
（平成22年度予備費及び補正予算額 9,170百万円）

■概要

国立大学法人等は、世界一流の優れた人材の養成、独創的・先端的な学術研究、高度先進医療の推進のための拠点であり、我が国の経済成長の鍵を握る人材力を強化し、技術力を発揮していくためのイノベーションの基盤となるものである。このことから、国立大学法人等の教育力・研究力を強化し、かつ、質の高い医療を提供するため、国立大学法人等施設の重点的・計画的整備を支援する。

■事業内容

新成長戦略を実現するために、国立大学法人等施設の喫緊の課題である施設の耐震化やエコ化を推進しつつ、以下の施策に関する施設整備を重点的に支援する。

- ① 国際的に卓越した教育研究拠点機能の充実
- ② 国際化の推進機能の充実
- ③ 高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実
- ④ 大学等の特性を生かした多様な教育研究機能の充実
- ⑤ 学生支援や地域貢献など大学等の戦略を踏まえ必要な機能の充実
- ⑥ 大学附属病院機能の充実

■新規事業（予定）

- ・ 老朽再生整備 4 1 事業（うち耐震対策事業 3 6 事業）
- ・ 最先端研究施設の整備 4 事業
- ・ 大学附属病院の再生 3 2 事業

■継続事業（予定）

- ・ 老朽再生整備 3 事業（うち耐震対策事業 3 事業）
- ・ 最先端研究施設の整備 2 事業
- ・ 大学附属病院の再生 2 0 事業
- ・ P F I 事業 2 7 事業

平成22年度予算額
891億円

平成23年度予算案
860億円

財政融資資金 388億円

新規事業 109億円
継続事業 279億円

財政融資資金 423億円

新規事業 101億円
継続事業 322億円

施設整備費補助金 503億円

新規事業 280億円(86事業)
耐震対策事業 263億円(56事業)
大学附属病院の再生 17億円(30事業)
継続事業 181億円(53事業)
災害復旧費 2億円
不動産購入費 40億円

施設整備費補助金 437億円

新規事業 221億円(77事業)
耐震対策事業 149億円(36事業)
機能改善事業 19億円(5事業)
最先端研究施設の整備 26億円(4事業)
大学附属病院の再生 27億円(32事業)
継続事業 180億円(52事業)
災害復旧費 2億円
不動産購入費 34億円

529億円

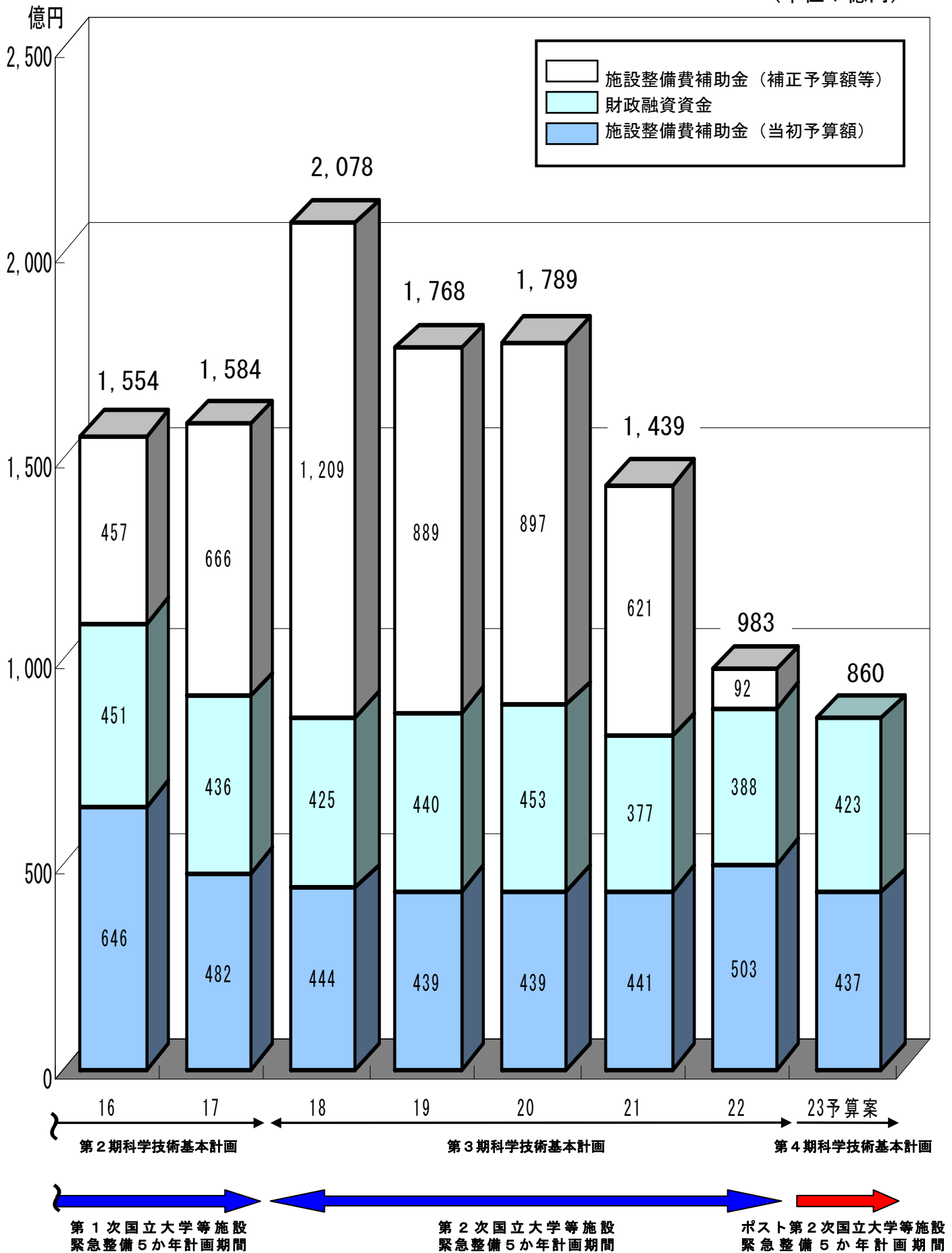
平成22年度予備費及び補正予算額 92億円
予備費 41億円(18事業)
補正予算 50億円(8事業)

※四捨五入のため合計は一致しない

国立大学法人等施設整備予算額の推移

(参考)

(単位：億円)



※ 1 平成22年度には経済危機対応・地域活性化予備費使用額41億円を計上
 ※ 2 四捨五入のため合計は一致しない